

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 10-031265
 (43)Date of publication of application : 03.02.1998

(51)Int.Cl. G03B 17/38
 G03B 17/18
 H04N 5/225
 H04N 5/232
 H04Q 9/00

(21)Application number : 08-184580
 (22)Date of filing : 15.07.1996

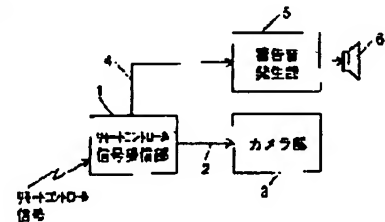
(71)Applicant : MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD
 (72)Inventor : OZAKI SHUZO

(54) DEVICE FOR PREVENTING STEALTHY PHOTOGRAPHING

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a means for preventing privacy from being infringed by improperly using an image pickup function by remote control.

SOLUTION: This device is constituted by providing a remote control receiver for remote controlling the camera with a warning sound issuing part 5 issuing a warning sound regardless of the intention of a person who is going to take a picture in the case of taking the picture by the remote control. Even in the case of taking the picture in a state where the remote control photographing function is improperly used, a person whose picture is taken can grasp that his picture is taken within the limits that the warning sound is heard and can cope with the situation, so that the privacy is prevented from being infringed.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 03.07.2003
 [Date of sending the examiner's decision of rejection]
 [Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]
 [Date of final disposal for application]
 [Patent number]
 [Date of registration]
 [Number of appeal against examiner's decision of rejection]
 [Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]
 [Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-31265

(43) 公開日 平成10年(1998) 2月3日

(51) Int.Cl. ⁸	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 3 B 17/38			G 0 3 B 17/38	B
17/18			17/18	Z
H 0 4 N 5/225			H 0 4 N 5/225	A
5/232			5/232	B
H 0 4 Q 9/00	3 0 1		H 0 4 Q 9/00	3 0 1 E
審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 3 頁)				

(21) 出願番号 特願平8-184580

(22) 出願日 平成8年(1996) 7月15日

(71) 出願人 000005821

松下電器産業株式会社

大阪府門真市大字門真1006番地

(72) 発明者 尾崎 秀三

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内

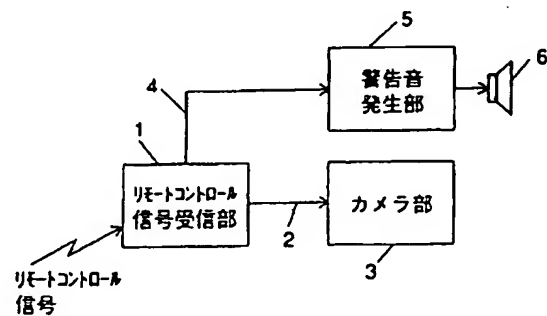
(74) 代理人 弁理士 滝本 智之 (外 1 名)

(54) 【発明の名称】 盗撮防止装置

(57) 【要約】

【課題】 リモートコントロールによる撮像機能の悪用によるプライバシーの侵害を防止する手段を提供する。

【解決手段】 カメラをリモート制御するためのリモートコントロール受信装置に、リモートコントロールによる撮影を行う際に撮影を行おうとする者の意志に関わらず警告音を発生する警告音発生部を備えたものであり、リモートコントロール撮影機能を悪用するような撮影を行おうとしても、警告音が届く範囲で撮影された人が撮影されたことを把握して対処でき、プライバシーの侵害を防止できる。



- 1 リモートコントロール信号受信部
- 2 リモートコントロールシャッター制御信号
- 3 カメラ部
- 4 警告音発生制御信号
- 5 警告音発生部
- 6 スピーカ

【特許請求の範囲】

【請求項1】リモートコントロール撮影機能を持つカメラ部と、前記カメラ部をリモート制御するためのリモートコントロール受信装置と、リモートコントロールによる撮影を行う際に警告音を発生する警告音発生部とを備えたことを特徴とする盗撮防止装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、リモートコントロール撮影が可能な光学式カメラや電子スチルカメラに適
用される盗撮防止装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】光学式カメラや電子スチルカメラにおいて、赤外線や電波によりリモートコントロール撮影が可能な装置がある。自分自身を写したり、危険な場所での撮影の様な場合、非常に便利な機能である。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかし、これらの付加機能による撮像機能を悪用し、盗撮といったプライバシーの侵害が起これ社会問題となっている。本発明は光学式カメラや電子スチルカメラにおいて、リモートコントロールによる撮像機能の便利さと悪用を防止することを両立する手段を提供する。

【0004】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するために、本発明はリモートコントロールによる撮像が可能なカメラ本体、もしくは、リモートコントロールによる撮像を可能にするためにカメラに接続されるリモートコントロール信号受信装置の中に、リモートコントロール撮像時には撮像を行う操作者の意志に関わらず、撮像される対象に対して撮像が行われること、もしくは撮像が行われたことを示す警告音を発生する警告音発生部を設ける。警告音は「撮影しました!」といった音声による警告を音声合成により発生させても、注意を促すような単純な音でもよい。

【0005】

【発明の実施の形態】本発明の請求項に記載の発明は、リモートコントロール撮影機能を持つカメラ部と、このカメラ部をリモート制御するためのリモートコントロール受信装置と、リモートコントロールによる撮影を行う際に警告音を発生する警告音発生部とを備えたものであり、この構成により、通常の撮像時はカメラが撮像したことの確認ができ、また警告音が届く範囲で撮影された人は撮影されたことを把握できる。

【0006】以下、本発明の実施の形態について図を参照しながら説明する。

【実施の形態1】図1は本発明の盗撮防止装置の構成を示すブロック図である。図1において、1はリモートコントロール信号受信部であり、リモートコントロールによりカメラを制御する信号を受信する。2はリモートコ

ントロールカメラ制御信号であり、絞りやピントを合わせる信号と、シャッターを制御する信号である。3はカメラ部であり、撮影を行い撮影された画像を記憶する部分である。カメラ部3は、例えばリモートコントロール撮影機能を持つデジタルスチルカメラである。

【0007】4は警告音発生制御信号であり、リモートコントロール部がシャッターを切る様な制御信号をカメラ部3に対して出す際に信号が送られる。5は警告音発生部であり、警告音発生制御信号4を受け取ると、「ピー」といった警告音、もしくは音声合成による「撮影しました!」といった警告音を発生する。6はスピーカであり、警告音発生部5で発生した警告音の電気信号を音に変換する。

【0008】図2は本発明の盗撮防止装置の処理手順を示すフローチャートである。リモートコントロールによる撮影を行なう際、使用者は外部のリモートコントロール発信器から、シャッターを切ることを指令する撮影指令信号を送信する。リモートコントロール信号受信部1はこの撮影指令信号を受信すると(step1: Yes)、リモートコントロールカメラ制御信号2の中のシャッターを切るための制御信号をカメラ部3に伝達する(step2)。この制御信号をカメラ部3へ伝達すると同時にリモートコントロール信号受信部1は警告音発生制御信号4を発生させる(step3)。

【0009】ここで、リモートコントロール信号受信部1は操作者の意志により警告音発生制御信号4の発生を阻止できない構造とする。警告音発生制御信号4を警告音発生部が受け取ると、「ピー」といった警告音、もしくは音声合成による「撮影しました!」といった警告音の電気信号を発生し、スピーカ6より、これらの警告音が発音される。

【0010】なお、カメラ部3としてはデジタルスチルカメラに限らず、リモートコントロール撮影機能を有する光学カメラでも良い。

【0011】

【発明の効果】以上のように本発明により、リモートコントロール撮影機能を悪用するような撮影を行おうとしても、警告音が届く範囲で撮影された人が撮影されたことを把握して対処できるため、近接撮影による著しいプライバシーの侵害を防止できる。また、リモート撮影の利用として鳥や野生生物の撮像が考えられるが、通常、このような撮影には望遠レンズを用い、生態系に影響が無いように配慮されるし、近接撮影により警告音を発生しても、重大な問題は起こらない。この手段では望遠レンズを用いたリモート撮像機能の悪用は阻止できないが、望遠レンズを用いる場合にはカメラの向ける方向を細かく制御する必要があるためリモートコントロールによる撮像はあまり行われなと考えられ、近接撮影による著しいプライバシーの侵害に比べ被害は小さい。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の盗撮防止装置の構成を示すブロック図
 【図2】本発明の盗撮防止装置の処理手順を示すフロー
 チャート

【符号の説明】

1 リモートコントロール信号受信部

2 リモートコントロールシャッター制御信号

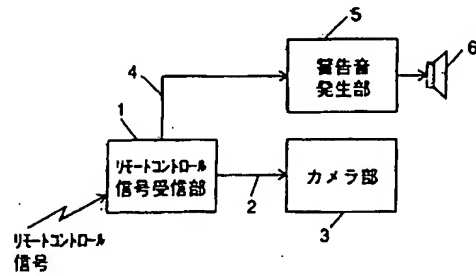
3 カメラ部

4 警告音発生制御信号

5 警告音発生部

6 スピーカ

【図1】



- 1 リモートコントロール信号受信部
- 2 リモートコントロールシャッター制御信号
- 3 カメラ部
- 4 警告音発生制御信号
- 5 警告音発生部
- 6 スピーカ

【図2】

